



国道433号川戸バイパスの整備効果

地域活性化や観光振興に
大いに寄与すると期待

- ・国道433号川戸バイパス(680m)が完成し平成8年4月24日開通式を挙る。
- ・川戸バイパスは、当地区の中心部に位置し、家屋連坦かつ狭隘なため交通隘路となっていた現道路区間を迂回することから、バイパスに隣接する川迫小学校の児童の交通安全が図られた。
- ・周辺環境に調和し、郷土の特色に配慮するため、川戸大橋の親柱には御影石を使用し、地元出身力士の肖像と歩道には江の川名物鮎釣を表現したカラーブロックを配置。
- ・地域活性化や観光振興に大いに寄与するものと期待されている。

● 国道433号川戸バイパス



● 現道とバイパスの比較

	現道	バイパス
延 長	930m	680m
車道幅員	最小3.1m	6.0m
歩道幅員	なし	2.5m

